



ちょっと可笑しな ほぼ三十六景

しりあがり寿 北斎と戯れる

2018年1月27日(土)～2018年2月4日(日)

主催：墨田区・すみだ北斎美術館



すみだ北斎美術館

ボクは若いころ、パロディーが大好きでした！中学から大学時代を送った70年代には街にマンガやフォトコラージュや小説や様々な形のパロディーがあふれ、ボクはそれを見て元の絵に少し手を加えるだけで全く違うこんなにオモシロイ作品ができるのか！？とそのユーモアあふれるセンスにワクワクしました。赤塚不二夫、ビックリハウス、モンティー・パイソン、スネークマンショー、等々、今でもそれらに出会った時の、常識を裏から膝カックンするような新鮮な驚きと笑いを忘れられません。生まれた時からすでに「誰かが作ったもの」の中で育った自分にとって、それは山や海を描くのと同じように自然でそしてとてもリアルな表現のように思われました。

あれから40年、今回すみだ北斎美術館のご協力を得て日本美術の名作中の名作、葛飾北斎の「富嶽三十六景」のパロディーを作らせていただくことになりました。パロディーというのは見る人がオリジナルを知っていないと意味がありません。そういう意味では北斎の世界的によく知られた「富嶽三十六景」はこの世の中でもっともパロディーに適した連作と言えるかもしれません。

46枚の作品（富嶽三十六景って実は46枚あるんですよ！）を制作しながら、ああ、40年前の自分が大好きだったことを今こうしてやっているんだという喜びと、今自分は進歩したグラフィックソフトを使いながらもこんなに苦労しているのに、先輩たちはホントに大変だったんだな、という感慨がこみあげてきました。

また何度も見ていたはずの富嶽三十六景もああでもないこうでもない眺めているうちにいくつかの新しい魅力に気づき、それをまた今だからこそできるアイデアに変換してゆくのは本当に楽しい作業でした。

きっとどんなに時がたって時代が変わればその時代なりのパロディーが次々に生まれていくんでしょうね。

40年前の大先輩たちを思いながら300年前の偉人北斎と戯れる。このような素晴らしい機会を与えていただいたすみだ美術館と協力していただいた方々にあらためて心より改めてお礼申し上げます。

どうぞ、時を超えた戯れを存分にお楽しみください。

しりあがり寿

● 出品目録

作者名	葛飾北斎	作者名	しりあがり寿
シリーズタイトル	富嶽三十六景	シリーズタイトル	ちょっと可笑しなほぼ三十六景
作品名		作品名	
山下白雨		富士山大混雑	
深川万年橋下		最新料金所	
東都駿台		この印ろうが目に入らぬか	
青山圓座松		ほうれん草	
武州玉川		ボンコツテレビ	
武州千住		アンテナバリだち	
甲州犬目峠		むずかしいグリーン	
東都浅草本願寺		大江戸ロボット対決	
神奈川冲浪裏		地球温暖化日本水没	
		太陽から見た地球	

作品名	作品名
武陽佃島	接続水域
相州七里浜	スマホで拡大
甲州梅澤左	その鳥とまりなさい
甲州石班沢	カンチョーいたす
甲州三島越	フンドシとられた
信州諏訪湖	トイレにかけこむ
凱風快晴	髭剃り富士
遠江山中	驚異のマジック！美女まっぶたつ
常州牛堀	タイタニック
駿州江尻	台風中継
御厩川岸より兩國橋夕陽見	疲れてます
江都駿河町三井見世略図	ドローン
甲州三坂水面	今のオッパイ 昔のオッパイ
五百らかん寺さゞみどう	諸人自撮り
尾州不二見原	メビウスの桶
	たいへんよくできました
下目黒	オヤジアタマの丘
相州江ノ島	江の島に醤油
登戸浦	父子鳥居
礪川雪ノ旦	UFOにさらわれた！！
隠田ノ水車	メデューサの洗髪
東海道程ヶ谷	アミダ並木
相州箱根湖水	金の斧銀の斧
従千住花街眺望ノ不二	星の戦争
江戸日本橋	ベネチア
隅田川関屋の里	メリーゴーランドからの逃走
甲州伊沢暁	エッシャー
上総ノ海路	百福神
東海道品川御殿山ノ不二	出張花咲翁
諸人登山	富士山エレベーター
東海道江尻田子の浦略図	ロボットの腕回収
相州仲原	密林宅配便
駿州片倉茶園ノ不二	RPG旅の宿
東海道金谷ノ不二	シンクロナイズドスイミング
東海道吉田	ゾンビ茶屋
身延川裏不二	カツカレー
駿州大野新田	牛が赤ワインしょって
本所立川	十秒後
溪斎英泉画 北斎肖像画『戯作者考補遺』より	しりあがり寿肖像画

※北斎作品は全てレプリカです